




Lorenz
ロレンツ



1725年から代々続く醸造所。2006年にガイゼンハイム大学で栽培醸造を学んだヨハネス・ローレンツが醸造所に戻ってくると同時にビオロジックに転換し、化学合成農薬・合成肥料や除草剤の使用を止め、ビオ農法団体エコヴィンの認証を取得。自前の太陽発電パネルを設置して電力を賄い、冬の剪定作業を行わず、葡萄樹が自然に到達したバランスで自然に収量を落とし、小粒で香り高い葡萄を得ている。醸造所があるラインヘッセン東部のフリーゼンハイムは標高245mのペータースベルクの山の影にある。15haの葡萄畑の土壌はレス土やローム質土壌や石灰質を多く含む泥灰土。品種はリースリング、ミューラー・トゥルガウ、シャルドネ、ヴァイスブルグンダー、ジルヴァーナ、フクセルレーベ、ショイレーベ、カベルネ・ブラン、ドルンフェルダー、カベルネソーヴィニヨンなど。生産の約60%が赤ワイン、95%が辛口。微発泡スパークリング「ヴァッハゲキュスト」（「目覚めのキス」の意味）の他にも「ウアシュライ」（「根源からの叫び」の意味。無剪定栽培で原始的なワイン造りを目指した赤）など、若手醸造家らしいユニークなネーミングのワインがある。

		<p>○Wachgeküst Secco Weiß ヴァッハゲキュスト セッコ ヴァイス</p>		備考
畑	品種：リースリング50%、リヴァーナ50% 植樹：1985年頃 位置：標高170m、南向き 土壌：石灰岩土壌	醸造	ステンレスタンクで醗酵 ステンレスタンクで4か月間熟成。	
		<p>●Wachgeküst Secco Rose ヴァッハゲキュスト セッコ ロゼ</p>		備考
畑	品種：ポルトギーザー 植樹：1985年頃 位置：標高270m、南向き 土壌：石灰岩土壌	醸造	ステンレスタンク醗酵 ステンレスタンクで4か月間熟成。	
		<p>○Riesling trocken リースリング トロッケン</p>		備考
畑	品種：リースリング 植樹：1995年頃 位置：標高170m、南向き 土壌：石灰岩土壌	醸造	ステンレスタンクで醸造。 ステンレスタンクで4か月間熟成。	
		<p>○Wilhelm Tell Apfeltischwein ヴィルヘルム・テル・アプフェルティッシュヴァイン（リンゴワイン）</p>		備考
畑	品種：様々な種類のリンゴ 植樹：不明 土壌：石灰岩土壌	醸造	ステンレスタンクで熟成。	